

産業・経済編（資料編）の全体構成案

1. 基本的事項

- 『山口県史』を参考に、産業・経済部会としてベストを目指す。
- 大項目（10）・中項目（25程度）の構成とする。
- 資料編第1巻（おおよそのページ割振り）
 - 全体 1,000 ページ
 - 解説 150 ページ（中項目別 平均で6 ページ）
 - 資料 850 ページ（中項目 平均34 ページ [資料数15点]）
- 解説文は、資料の意義、位置づけなど。
- 資料は、文書の他、必要に応じて統計を採用可
- いろいろ工夫して産業経済編のオリジナリティを出し、読んでもらえるものにする。書き手が面白いと思いながら作成する。

2. 大項目の案

1. 地域経済と開発政策（奥田仁・小田清）
2. 農業（坂下明彦・東山寛）
3. 林業（柿澤宏昭）
4. 水産業（漁業）（宮澤晴彦）
5. 工業・情報通信（板垣暁）
6. 商業（満菌勇）
7. 交通（市川大祐）
8. 石炭・エネルギー（青木隆夫・小坂直人）
9. 金融・観光（佐藤郁夫）
10. 労働（未定）

